平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年８月７日

上場会社名　東部ネットワーク株式会社　上場取引所　大
コード番号　9036　ＵＲＬ　http://www.tohbu.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）芦原　一義
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役兼常務執行役員　（氏名）三澤　秀幸　ＴＥＬ　045-461-1651
四半期報告書提出予定日　平成24年８月14日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	2,997	4.1	226	62.2	239	54.0	146	56.2
24年３月期第１四半期	2,880	12.1	139	△30.2	155	△32.2	93	△30.3

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	26.73	－
24年３月期第１四半期	17.12	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	18,118	14,018	77.4
24年３月期	17,895	13,939	77.9

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　14,018百万円　24年３月期　13,939百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	7.50	－	7.50	15.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		7.50	－	7.50	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	6,114	3.5	468	53.9	482	46.5	296	47.6	54.05
通期	11,513	4.2	806	59.6	833	52.0	513	14.5	93.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（注）詳細は、添付資料のＰ３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	5,749,000株	24年３月期	5,749,000株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	263,230株	24年３月期	263,230株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	5,485,770株	24年３月期１Ｑ	5,485,770株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料（決算説明資料）は、当社ホームページに同日掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、中国や新興国の経済が減速傾向となり、外需に下押し圧力が強まっておりますが、震災後の復興需要に加えてエコカー補助金等の施策により、内需は緩やかに回復しつつあります。

当貨物自動車運送業界におきましては、震災による影響で出荷量が減少した前四半期に比べて当四半期は、生産が回復し、総輸送量は増加傾向にあります。

当社はこのような状況下、本来業務の輸送は大型化（トレーラー化）による複合輸送で効率化を促進し、北信越圏と関東圏を担当する新規物流センターの運営に伴い、ＩＴによる情報システムも開発し、一貫物流（製造工場→物流センター（受入・出荷・在庫管理）→輸送（納品））を請負うことができましたので、運送の提供会社からトータル物流の提供会社に進化いたしました。これにより、安定的な収益の構造改革を図ることができました。

以上の結果、当第１四半期累計期間の売上高は、2,997,550千円（前年同期比4.1％増）となりました。営業利益は、設備投資が一段落し、減価償却費負担が減少いたしましたことに加え諸経費削減効果もあり、226,861千円（前年同期比62.2％増）、経常利益も239,045千円（前年同期比54.0％増）となり、当四半期純利益は、146,646千円（前年同期比56.2％増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりです。

① 貨物自動車運送事業

（第１営業部門）

清涼飲料輸送の前期は震災による影響を受け、供給不足が発生しましたが、今期は順調な製品出荷となり、輸送量が増加し増収となりました。

びん・容器輸送も、前述の震災影響から正常出荷に戻りましたことに加え、新たに輸送担当地域が拡大いたしましたので増収となりました。

以上により、第１営業部門は前年同期比10.2％増となりました。

（第２営業部門）

石油輸送は、燃料費高騰による節約志向や低燃費車の増加に伴い輸送量は減少傾向にありますが、新輸送システムによる増車を実施する一方で車両配置見直しによる減車も行い、微減となりました。

化成品輸送は、当社は荷主より輸送品質で評価され、前期に新規テリトリーを担当し増車しておりますので、新興国需要が減少する中で引続き増収となりました。

セメント輸送は、担当していた大型公共工事が終了したことに加え、被災地の代替輸送も終了したため輸送量が減少し、減収となりました。

その他輸送は、小型車の専属契約車を提供しておりますが、値引き要請があり減収となりました。

以上から、第２営業部門は前年同期比0.0％減で前期並となりました。

この結果、関連業務の荷役作業収入を含めた当事業の売上高は、2,075,279千円（前年同期比8.5％増）となり、セグメント利益は151,717千円（前年同期比121.8％増）となりました。

② 商品販売事業

石油販売は、燃料費高騰に伴い市場が縮小いたしましたので、納入価格競争が激化し販売量が減少し、減収となりました。

セメント販売は、複数の大口納入先が完工いたしましたので、大幅な減収となりました。

車両販売等は、中型車の販売と新規事業のソフトウエア販売等が貢献し、増収となりました。

この結果、当事業の売上高は598,089千円（前年同期比5.8％減）となり、セグメント利益は4,099千円（前年同期比26.5％増）となりました。

③ 不動産賃貸事業

自社提供施設は、テナント事業で一部空室等がでておりますが、新設の草加施設と東部北陸物流センターが貢献し、増収となりました。

借上施設は、季節的臨時提供施設が月遅れの提供となりましたので減収となりました。

この結果、当事業の売上高は306,316千円（前年同期比1.9％減）となり、セグメント利益は136,058千円（前年同期比5.5％増）となりました。

④ その他事業

自動車整備事業は、登録車両が減少しておりますので、車検・整備等の受託競争の激化により受注価格が低下し、減収となりました。

損害保険代理業等は、大口契約者の優良割引率の上昇と、更新時に付随サービスの解約等も出て、減収となりました。

この結果、当事業の売上高は17,864千円（前年同期比8.8％減）となり、セグメント利益は6,718千円前年同期比27.2％減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期会計期間末における流動資産は3,813,219千円となり、前事業年度末と比べ193,759千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が173,513千円、受取手形が23,836千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は14,305,279千円となり、前事業年度末と比べ29,494千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が70,519千円増加した一方で、無形固定資産が17,478千円、投資有価証券の時価評価等により投資その他の資産が23,546千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は18,118,498千円となり、前事業年度末と比べ223,254千円増加いたしました。

（負債）

当第１四半期会計期間末における流動負債は1,601,847千円となり、前事業年度末と比べ176,679千円増加いたしました。これは主に未払金が175,667千円、未払費用が98,767千円それぞれ増加した一方で、営業未払金が47,214千円、未払消費税等が48,816千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は2,498,259千円となり、前事業年度末と比べ32,253千円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が18,176千円、長期預り保証金が16,675千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,100,107千円となり、前事業年度末と比べ144,426千円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産合計は14,018,391千円となり、前事業年度末と比べ78,828千円増加いたしました。これは、その他有価証券評価差額金が26,674千円減少した一方で、四半期純利益146,646千円及び剰余金の配当41,143千円により利益剰余金が105,503千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.4％（前事業年度末は77.9％）となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第１四半期累計期間の経営成績は概ね予想どおりに推移しているため、平成24年５月11日の決算短信で公表いたしました第２四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ3,061千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,252,994	2,426,508
受取手形	27,376	51,213
営業未収入金	1,141,263	1,153,197
原材料及び貯蔵品	30,311	23,014
その他	171,409	163,299
貸倒引当金	△3,895	△4,013
流動資産合計	3,619,459	3,813,219
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,620,113	3,586,771
車両運搬具（純額）	252,006	369,661
土地	7,520,861	7,520,861
その他（純額）	409,214	395,421
有形固定資産合計	11,802,196	11,872,715
無形固定資産	167,038	149,560
投資その他の資産		
投資有価証券	682,067	661,893
差入保証金	1,429,180	1,429,201
その他	195,304	191,911
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	2,306,548	2,283,002
固定資産合計	14,275,784	14,305,279
資産合計	17,895,243	18,118,498
負債の部		
流動負債		
支払手形	23,669	107,392
営業未払金	759,820	712,605
未払金	52,003	227,671
未払費用	180,915	279,683
未払法人税等	113,256	84,546
引当金	90,614	34,984
その他	204,887	154,963
流動負債合計	1,425,167	1,601,847
固定負債		
繰延税金負債	1,092,521	1,074,344
再評価に係る繰延税金負債	123,215	123,215
引当金	98,453	102,069
長期前受金	64,812	63,425

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
長期預り保証金	1,139,603	1,122,928
資産除去債務	11,908	12,277
固定負債合計	2,530,513	2,498,259
負債合計	3,955,680	4,100,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,031	553,031
資本剰余金	527,722	527,722
利益剰余金	13,401,295	13,506,798
自己株式	△194,955	△194,955
株主資本合計	14,287,092	14,392,596
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,271	75,596
土地再評価差額金	△449,801	△449,801
評価・換算差額等合計	△347,530	△374,205
純資産合計	13,939,562	14,018,391
負債純資産合計	17,895,243	18,118,498

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	2,880,049	2,997,550
売上原価	2,643,567	2,679,090
売上総利益	236,482	318,460
割賦販売未実現利益戻入額	933	399
割賦販売未実現利益繰入額	931	354
差引売上総利益	236,484	318,504
販売費及び一般管理費	96,624	91,642
営業利益	139,860	226,861
営業外収益		
受取利息	153	78
受取配当金	12,871	9,832
車両賃貸料	360	－
その他	3,699	3,955
営業外収益合計	17,085	13,866
営業外費用		
支払利息	1,520	1,682
その他	211	－
営業外費用合計	1,731	1,682
経常利益	155,213	239,045
特別利益		
固定資産売却益	6,068	1,489
特別利益合計	6,068	1,489
特別損失		
固定資産除却損	2	－
特別損失合計	2	－
税引前四半期純利益	161,280	240,535
法人税、住民税及び事業税	45,787	82,388
法人税等調整額	21,581	11,499
法人税等合計	67,368	93,888
四半期純利益	93,911	146,646

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）２	四半期損益計算書計上額（注）３
	貨物自動車運送事業	商品販売事業	不動産賃貸事業	その他事業（注）１	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,913,332	634,961	312,157	19,598	2,880,049	－	2,880,049
計	1,913,332	634,961	312,157	19,598	2,880,049	－	2,880,049
セグメント利益	68,406	3,240	128,951	9,234	209,833	△69,973	139,860

（注）１．「その他事業」は、自動車整備業及び損保代理業等であります。
２．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．報告セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書計上額（営業利益）と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）２	四半期損益計算書計上額（注）３
	貨物自動車運送事業	商品販売事業	不動産賃貸事業	その他事業（注）１	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,075,279	598,089	306,316	17,864	2,997,550	－	2,997,550
計	2,075,279	598,089	306,316	17,864	2,997,550	－	2,997,550
セグメント利益	151,717	4,099	136,058	6,718	298,594	△71,733	226,861

（注）１．「その他事業」は、自動車整備業及び損保代理業等であります。
２．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．報告セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書計上額（営業利益）と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。